



▲おめでとう! 6年生に手を引かれ入場する新1年生(志免南小学校)

3月定例会

「21年度緊縮予算」 補助金大幅カット メリ・ハリはどこ?	2~3
追加補正 定額給付金・地域活性化のために	5
桜丘団地…公共下水道に連結 焼却場跡地…いよいよ整備検討へ	6
一般質問 ズバリ町政を問う	10
議会あれこれ 町長と議会は対等!	15

ししめ議会だより
第52号

◇発行・福岡県志免町議会 ◇編集・議会広報特別委員会 〒811-2292
◇発行日・平成21年5月1日 ◇印刷・九州チューエツ株式会社

福岡県糟屋郡志免町中央1丁目1-1

わが町のきらっとせん!

地域住民の方々が個々に
地域の安全・安心への取り組みをして頂いています。

町の施策である見守り事業の一環ともなっているグループを紹介します。



志免西小学校「通学路の見守り」
通学指導員とは別に別府二町内会の老人会長を中心に、グラウンドゴルフの会員の方々が加わって、登下校時の交通安全への見守りが行われています。
登校時の車の通過量は毎日約140台にもなり、通学する児童数も多く、大変危険な状況を見聞きする中で、安全指導に立っていた方が一人から二人又



三人と徐々に増えていったとのこと。
別府昭和町交差点ユニバ通りから進入する車も100台を越える現状に日々の見守りについて保護者から感謝の声と共に、お年寄りの方々の交流で子どもたちが元気な挨拶ができています。



広報委員会

吉田委員 大熊委員 二宮委員 大西委員
古庄議長(発行責任者) 堤委員長 助村副委員長

お知らせ 次回の定例会は 6月12日より

傍聴に是非お越しく下さい。

議会傍聴は、町民が町政に参加する機会のひとつです。是非お越し下さい。車椅子席もあります。詳細は議会事務局までお問い合わせください。

「議会だより」についてのご意見をお待ちしております。

TEL 935-1001 FAX 935-7070

議会事務局は町役場4階です。

E-mail: gikai@town.shime.lg.jp

議会8メモ

議会はいつ開催されているの?

定例議会は3月・6月・9月・12月の年4回です。緊急を要する案件に限り、臨時議会があります。

議会が開かれていない時は?

本議会最終日に承認された継続審査の各委員会所管事務を調査・研究をします。

【平成20年度の委員会開催回数】 ※定例会以外

- ・常任委員会……………42回
- ・議会運営委員会……………13回
- ・志免跡地対策特別委員会……………2回
- ・福岡都市圏広域行政調査特別委員会……………3回
- ・議会広報特別委員会……………25回
- ・合併問題調査特別委員会……………2回



平成21年度 緊縮予算! メリ・ハリは?

減 増

第1回定例会

初!

一般会計 93億 8,000万円 (前年度比1.4%減)

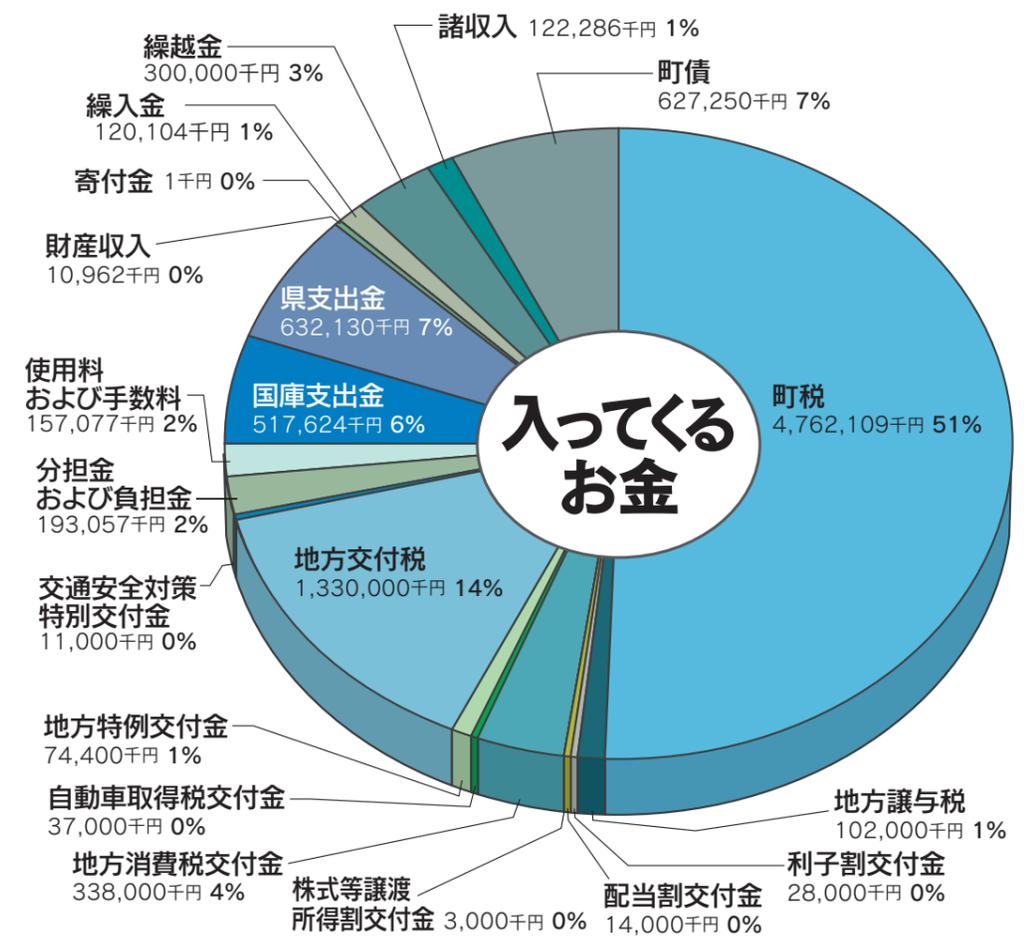
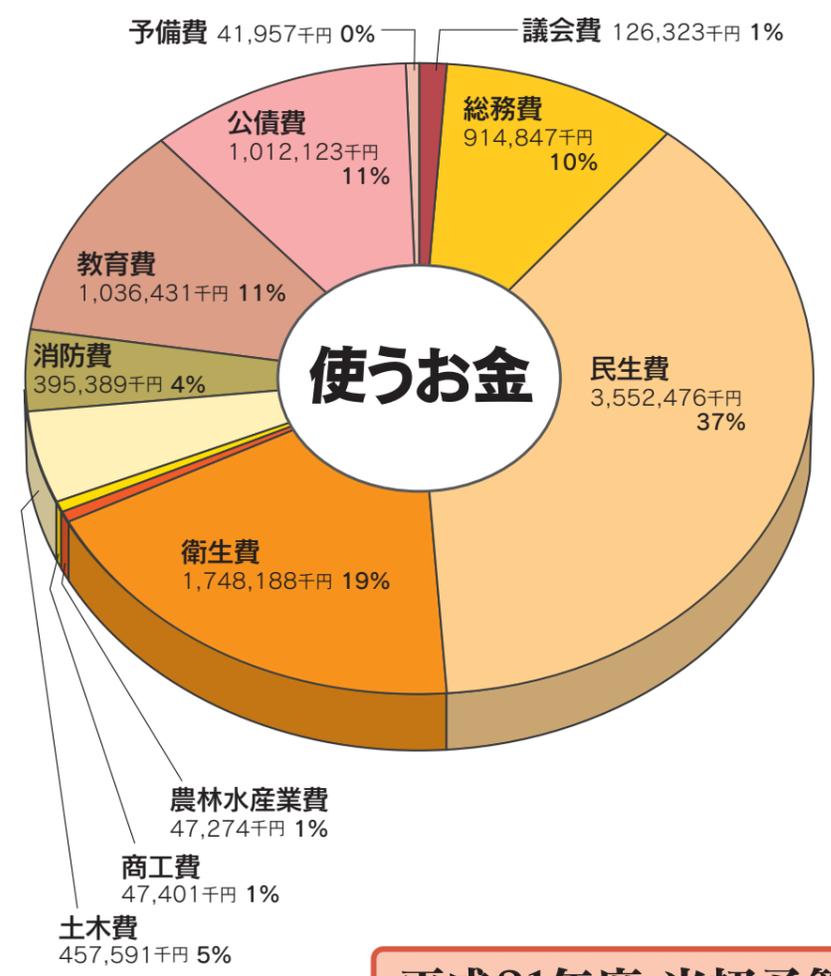
賛成多数で採択
(賛成10人・反対5人)

【賛成】 堤・助村・丸山・吉住・池邊・牛房・大西・稲永・熊本・二宮
【反対】 大熊・西川・吉田・大林・末藤

地方分権の時代に即した議会となるべく、一般会計予算と今回初めて、特別会計(国保会計等)・水道事業会計を全員(議長を除く)による予算特別委員会で審議。

委員長 助村議員
副委員長 丸山議員
副委員長 稲永議員

新設
予算特別委員会
委員長 助村議員
副委員長 丸山議員
副委員長 稲永議員



平成21年度 当初予算 総額 168億8,600万円

一般会計	93億8,000万円	住宅新築	1,300万円
国民健康保険	42億1,000万円	下水道事業	13億4,800万円
老人保健	6,900万円	水道事業	14億7,000万円
後期高齢者	3億9,600万円		(100万円未満四捨五入)

反対討論
末藤議員

財源を理由にし、真っ先に高齢者の命をおろそかにする医療から削る、こんな国や市町村に未来はないと思う。75歳まで長生きしておめでたうといえるのが政治というものである。今年度予算には、自治体としての責任や思いやりをみることができない。このことを強く指摘し反対討論とする。

平成21年第1回定例会が3月6日から26日(21日間)の会期で開かれました。21年度当初予算・20年度補正予算・条例改正など計33議案、継続審査1件・請願2件・意見書3件すべて可決しました。一般質問は9日、10日の2日間で9人が行いました。

賛成多数で採択 (賛成13:反対2)

一般会計

1億500万8千円増 総額98億77万6千円

主な一般会計補正

●地域活性化・生活対策臨時交付金 **4,020万7千円**

・地域活性化等に資する事業を行うため、国が交付するもので「目的にそった事業計画が立てられておらず、社会情勢を敏感に感じとった取り組みが必要」との意見が議会では大半をしめた。

道路改良工事 **2,474万8千円**

中央小学校体育館耐震補強工事 **917万8千円**

●宇美・志免リサイクルセンター建設費補助金 **1,115万4千円**

・建設資材の値上がり、ごみ混じり土砂の処分費用として



新しく稼働した宇美・志免リサイクルセンター

一般会計補正(第6号)

●定額給付金事業 **6億7651万6千円**

「町民への周知をすばやく行い、できるだけ早く給付金を出すように」議会より強く要請した。

●子育て応援特別手当給付事業 **2759万6千円**

子どもが3人以上の2子以後、3～5歳に限り、二人当り3万6千円を給付。

一般会計補正(第7号)

●商品券事業補助金 **200万円**

議会の強い要請により「定額給付金」支給に合わせて、商品券発行補助金200万円を400万円に増額し、商品券発行額を4000万円から8000万円にするもの。

全員賛成

全員賛成

特別会計補正

- 国民健康保険 全員賛成 1億6,491万円(減) 総額44億6,312万6千円
- 老人保険 全員賛成 2,397万円(減) 総額 4億8,696万9千円
- 後期高齢者医療 賛成多数(賛成14:反対1) 543万7千円(増) 総額 3億8,871万2千円

- 下水道事業 全員賛成 8,082万9千円(減) 総額16億2,557万3千円
- 水道事業 全員賛成 9,688万円(減) 総額12億7,117万8千円

21年度当初予算 ●主な事業

補助金見直し

削減に議論ふっとう!

個別補助金(112件、計2億8500万円)の廃止や目的別予算等への組み換えも含め、今年度5200万円減。

【主なもの】

- 小・中学校学級費……………廃止
- 町内清掃助成費……………50%減
- 納涼夏まつり補助……………廃止

新規

人事評価制度 **120万円**

職員の能力開発を促進するための研修センター事業費。

学級補助員事業

個々に応じた授業の充実を図るとのことだが。

30人→24人に減
1,600万円減



少人数指導のようす

新規

アクション福岡活用事業 **160万円**

健康づくりのため、年間を通じ、県民プール、トレーニング室(写真下)が利用できる。
※一部有料



新規

ボランティア・コーディネーター **新設**

まちづくりやボランティア団体間の情報交換や活動の推進のためボランティア・コーディネーターを設置。

308万円



請願（要望・陳情）・意見書

	請願	請願者	内容	採決結果
請願	「定額給付金」事業に伴う商品券事業実施に関する請願	志免町商工会 会長 吉村 郁久	「定額給付金」の支給が承認され、商工会においても消費を喚起し、経済の底上げを図りたいという国の意向に従い、従来の商品券発行額の4,000万円を倍額し「定額給付金」支給に合わせて実施を考えている。ついでに町行政の商品券発行補助金200万円を商工会負担額同等の400万円に増額していただきたい。	全員賛成で採択
	国民健康保険財政への国庫負担割合を医療費総額の45%に戻すことを求める請願	粕屋地区社会保険推進協議会 代表 三野原 厚	保険料(税)の滞納世帯が増加している。滞納世帯への短期保険証の発行や資格証明書の発行も増加。このような事態を招いた根本は1984年から国庫補助を45%から38.5%に削減したこと。高すぎる保険料(税)を抜本的に解決し、国民皆保険制度を維持するためには45%に戻すことが必要です。	賛成多数で採択 国へ意見書を提出

討論

国保を45%に戻すことを求める意見書に討論!

反対討論

助村議員

国は国保財政の厳しい中皆保険を維持するために45%から38.5%へ負担率を下げた。しかしその一方数々の改革を経て今日まできている。それ

を今すぐ国の負担を24年前の元に戻し、増加させるなどとは到底不可能。

また、国保財政の悪化の原因は少子高齢化などが大きく、必ずしも請願のとおりではない。もっと国民の為に細やかな改革が必要。

	意見書	提出者	内容	採決結果
意見書	「緑の社会」への構造改革を求める意見書	助村 議員	経済危機の今こそ「緑の社会」へと大転換するチャンスと捉え、諸外国に先駆けて不況を克服し、低炭素社会・循環型社会・自然共生社会を目指し、環境分野へ大胆に投資し雇用を創出すべく「日本版グリーン・ニューディール」を推進すべき。	賛成多数で採択 国へ意見書を提出
	「世界一高い学費」を軽減し、経済的理由で学業をあきらめる若者をなくすことを求める意見書	末藤 議員	雇用と景気の急速な悪化のもとで「世界一高い学費」が家庭に重くのしかかっている。高校教育、大学教育等の無償化をめざすとともに、経済的理由で卒業できない生徒を出さないために対策をとるよう要請する。	賛成多数で採択 国へ意見書を提出
	志免町中小小規模事業所の活性化に対する支援強化を求める意見書	大西 議員	わが町においては6年前から、商品券事業が商工会独自で行われ、4年前から行政も助成金を出し支援している。今年度は助成金はなくなっていないが、主な施策から削除され、将来的には廃止されようとしている。商品券事業補助という名目をはっきり明示し、助成を継続するよう要望する。	賛成多数で採択

討論

中小小規模事業所への支援強化を求める意見書に討論!

反対討論

丸山議員

商工会が行っている商品券事業に対して、町が4年前から補助金を出し支援しているが、金銭的な支援ではなく他の応援の仕方がある。

商工会は金銭的に依存することなく、また町は自助努力だけを期待するのではなく、商工農業発展、活性化のために所得倍増計画大プロジェクトを結成し、動き出すことを提案する。

反対討論

堤 議員

商品券が発行され、補助金が付いたのは、大型店進出による期限付の対策ではなかったのか。

財政難の折、町民の税が投入。1割還元を享受する住民とできない住民の不公平感がある。商品券の販売店も商工会も商品券事業に事務作業と時間を要するなど。

商工業者の自主・自立と、地域の独自性で、中小小規模事業が活性していくと信じる。

町の憲法

条例の制定と改正

認可地縁団体の印鑑登録及び証明に関する条例の制定

地縁による団体が、地域的な共同活動を円滑に行うための、団体設立に関する事務手続きを整備するため。

全員賛成

下水道条例の特例の制定

桜丘団地内の汚水を公共下水道に接続するにあたり、使用料についての特例を規定。(桜丘の現行使用料2年間据え置き)

賛成多数(賛成14・反対1)

志免町総合計画審議会

条例の改正

審議会の委員構成のうち町議会議員4人をはじめ、公募により選ばれた町民4人以内と改正。

全員賛成

焼却場跡地整備委員会設置条例の制定

焼却場跡地及び周辺地域の環境整備を円滑に推進するため必要な調査研究を行う。

15人の委員で組織する。

全員賛成



▲整備が待たれる焼却場跡地

職員の勤務時間に関する条例の改正

休憩時間が15分短縮され、45分間となる。(12時15分～13時まで昼休み)

全員賛成

特別職及び教育長の給与等を減額

- ・町長の給与10%減79万2300円を75万600円。
 - ・副町長5%減65万3780円を64万300円。
 - ・教育長5%減61万1100円を59万8500円。
- 及び期末手当も減額をする。
総額236万円の減。

全員賛成

総務文教常任委員会

学校新設が増設か？ 特別委員会(全員) 審議へ移行

小・中学校とも新設が望ましいと、町立学校通学区審議委員会から昨年1月答申が出されたが、町も教育委員会も最終決断には至っていない。

町財政が厳しい折、財政出動が大きい。教育の問題ではあるが、町の大きな課題でもあり、時間的制約の中で結論を出さなければならない。議会

全体で論議し、結論を出すことがよいという総意で特別委員会で審議をすることに合意。

補助金の適正化

町より『補助金等検討委員会の提言を受け、個々の補助金の見直しを行う。経営会議、課長会議の検証を行い、縮減・廃止など原則として、平成22年度までに実施する。交付基準、規則は21年4月より施行する。新たな補助事業等に対

する交付金は交付規定に合致すべきものとする』補助金団体の公共施設使用料の減免措置の見直しも行うよう要請した。

協働の体制づくり

20年から5年をかけて、協働体制づくりが実施される。重点項目を意識改革、情報の共有化、環境の整備、人材育成、機会の拡大と5つ立てられ、具体的実行項目に分けて計画が進められている。21年度でボランティアコーディネーターの設置の予定。



総務文教常任委員会
牛房委員 吉住副委員長 二宮委員 木藤委員 助村委員長

厚生常任委員会



厚生常任委員会
大西委員 大熊委員 西川副委員長 丸山委員長 大林委員

学童保育と 保育園民営化

『学童保育については、連合会総会を実施』会長の選任など大変な面もあるが、滞りなく準備を進めてほしいと提言。『別府つくし保育園は、待期児童12人。一時預かり保育室を利用できないか検討中。第3者評価については、保育の質の担保のため、

介護保険料の改定

『広域連合の保険料基準額が現行4966円から4700円にさがる。志免町は4月からBグループからCグループに変わり、基準額が3862円となる。グループ分けは、平成18年度、19年度の高齢者一人当りの給

付費、偏差値で決定され、志免町は33市町村の中で下から5番目となる』委員会では介護予防についていろいろ協議してきたが、健康課を中心とした取り組みの成果があったと評価した。

コミュニティの へやの設置

委員会では、審議を重ねてきた。松ヶ丘町内会は地域活動が活発だが集会所が狭い、県営住宅で町は投資をほとんどしていない。部屋の維持管理は町内会ですることなどから賛成との意見が出され全員賛成で採択。 ※『』は町よりの報告です。

委員会報告 (調査・研究)

町の重要な課題

建設常任委員会

桜丘団地の公共下水道接続に合意形成

『①宅内最終柵より下流、道路側については町が管理する。②受益者負担100%減免。③従来の料金体系を2年間据置後、志免町下水道料金に移行する。④桜丘終末処理場跡地は構作物等を撤去し更地で

福祉施設用地として保存する。下水道料金据え置き差額は年間約1500万円が公共下水道に接続しなかった場合、老朽化に伴い機器の故障などで多額の費用がかかり、公共下水道供用開始区域になると改修許可がでない。汚泥処理20年度約900万円増額で桜丘処理場の収支は赤字』

炭鉱跡地基盤整備 事業完了

『整備された跡地の管理、運営は未定だが、きれいに整備された広場を一日も早く活用できるように要請。』



建設常任委員会
堤委員 池邊委員 熊本委員 吉田副委員長 稲永委員長

議会運営委員会

予算審査については、今期中は全予算を全員による予算特別委員会として審査することを全会一致で決定。次に議会基本条例については、策定に向けて協議を進め、議運で素案をつくることとした。全員賛成で決定。次に志免西小の分離新設・増築問題については、全員による特別委員会設置に全会一致で賛成。

合併問題調査特別委員会

県内の合併状況及び現況について調査研究をすべく、講師に福岡県企画・地域振興市町村支援課に要請を行う。2月18日委員会開催。室長・主幹より説明を受けた。

福岡都市圏広域行政 調査特別委員会

隣接する志免町として、重要な問題であり、福岡空港調査連絡調整会議から出されているP1レポート、ステップ4の資料など参考にして情報交換を行なう。障害者就労支援の広域での取り組みについては委員会内で協議を行なっている。

志免跡地対策特別委員会

新日本コンクリート、その他土地の貸付料金合計425万2353円。4月の委員会で、ボタ山資源の活用目的等協議する。

新設 志免西小学校の分離新設・ 増築等調査特別委員会

志免西小学校の分離新設・増築等調査特別委員会を設置。
委員長 牛房議員、副委員長 吉住議員

ここが聞きたい

ズバリ町政を問う

一般質問は議員個々の自由編集（会議録にもとづき）で掲載しております。詳細は会議録をご参照ください。掲載は質問順としています。

※大熊議員は掲載を辞退されました。

商工業支援 新融資制度の創設を

答弁：支援方法を検討する

大西 勇 議員



大西 町内業者の支援対策として、小口事業融資制度があるが使い勝手が悪い。新たに利子補給制度か保証料金補助制度を真剣に考え、バックアップ

プしてもらいたい。志免町の卸小売業の年間総売上げ額は県内66市町村で9位と頑張って本町の経済を支えている。

策として、男女青年主張大会を行ってはどうか。青年や退職された方・高齢者に勇気を与え、循環型の活性化につながっていく。

町長 若い人達が将来を見据えて自分の主義主張を述べることはすばらしいと思う。いろんな若い人たちが意見を述べる機会があればお世話し、支援をしたい。

大西 次世代の若者達の自立を後押しする支援対



▲庁舎より町内を眺む



▲職員の研修を

自治体自立

職員の研修体制作り

答弁：本町の状況は難しい

堤 久美子 議員



堤 前例に従って、他市町村と歩調をそろえて、国・県の指示通りという3つの意識を捨てて、町民の中に積極的に飛び込み、町民のため何が必要か、自分の頭で考える職員を育成する週末学校に

職員が手を上げられる体制づくりは。総務課長 研修の中で職員は大きな効果を上げてくるところが、行政改革の中で長い期間研修にやるのが難しい状況である。

樽でまちづくり構想は 答弁：提言等いただく

して、活力あるまちづくりを創出して欲しい。町長 多目的広場、周辺遺構、第8坑連卸周辺を公園ふうを整備もした。利用・活用の仕方は町民と行政が協力し合いながら、対外的にはアピールをして周辺が活性化していけば町が元気になる。提言をいただきたい。

堤 評価（国の重要文化財に指定、世界遺産に登録される可能性が高い）を受けている堅坑樽を活

学校給食 地産地消と食育

答弁：地場産が少ない

丸山 真智子 議員



丸山 地産地消が食育につながる、現状は。学校教育課長 米は粕屋産を使用。野菜等は学校給食会を通して購入している。

地元産を使うには価格の安定、調理しやすい、安全性の3点をクリアしなければならぬ。教育長 粕屋地区の食料自給率は平均6%（平成18年）で実現できない。丸山 ブロッコリーなど供給できるものもある。

平成の森公園の活用

答弁：町民へ広報が不足

丸山 事業費9億円で平成5年3月に竣工。

池干して水の浄化を行い、住民サポーターを養成してもつと活用すべき。地域整備課長 時期によつては臭う。池干しは農区の水利権がある。町長 サポーターは必要と思う。さらに広報を行い、施設を有効に活用したい。

行政経営改革の推進

堅坑樽周辺のビジョン



▲粕屋産の野菜（JAふれあいの里）



▲税務課

財政健全化 税収担当課の新設を

答弁：組織の見直しを検討

西川 厳しい経済危機の中、税及び料金のすべてを徴収するシステム「税収担当課」を新設することが町には一番の策と思うが。



西川 蓉子 議員

西川 厳しい経済危機の中、税及び料金のすべてを徴収するシステム「税収担当課」を新設することが町には一番の策と思うが。

町長 行財政改革をしても効果を上げるところまでいかない厳しい状況、3案提案があり検討する。自治体を取り巻く環境も大きく変っている。そのことも含めた組織の見直しを今後検討していく。貴重な税収また財源を看過することはない。

西川 住民サービス、住民サービスと今迄はそれでよかったが、今後、施設使用料の減免措置、廃止も含め検討されるのか。



助村千代子 議員

母子の健康 パスポートの発行を

答弁：電子化で進む方向性

助村 一生を通して健康を守るツールとして、予防接種や病歴、健診、出産などの情報を一冊に記載する健康パスポートの発行を提案する。

健康課長 平成24年に病院のカルテが電子化の予

定。ICカードで健康管理ができるようになる。助村 国は14回の妊婦検診の無料化の道筋をつけたが町の考えは。町長 粕屋地区市町長会で14回の申合せを行った。

認可外保育所への支援 答弁：協議し考えていく

助村 安心こども基金は保育の質の向上のための研修事業に使えるが、認可外保育所への研修など

の支援はできないのか。子育て支援課長 基本的に市町村が行う事業に対する補助金。市町村の考え方で事業を行えば、参加を呼びかければ良いと思う。町の負担もあるので協議しながら考える。

【その他の質問】 携帯電話中継基地について



▲志免町の母子手帳等



▲庁舎内某課

町内会制度 見直しなどの方向性

答弁：協議会を設置し検討



二宮 美津代 議員

二宮 全国的な流れとして、自治とは何かを考える動きの中で、自治会活動の在り方が論じられている。志免町の町内会制度について、見直し・廃止など町の考え方を問う。町長 住民と行政の協働

プロジェクトの提言に沿った、コミュニティの見直しを協議会を設置し検討する。この事業の推進には町内会長の理解と協力が不可欠である。いずれにしても慎重に行う。

公文書の管理状況は 答弁：ファイル基準遵守 二宮 公文書のずさんな管理が問題となっている。文書管理の中でも保存期間は過ぎていくが、町に

とって重要な文書など、永久保存すべきかどうかその取り扱いはどうに行われてきたのか。 総務課長 平成5年に導入したファイリングシステムの基準表に基づいて行っている。 今後「公文書管理法」の制定も考えられ、全国的な統一基準に沿った文書管理を行う。

行政サービス 日本一を目指せ

答弁：各課で努力をする

牛房 金がなければ行政サービスはできないのか、明るさの見えない社会だからこそ自治体の頂点日本一を目指し、行政サービスの向上に取り組んで貰



牛房 良嗣 議員

いたい。 住民課長 窓口の対応が町のイメージをつくる、笑顔で挨拶、分り易い説明に迅速な接遇など職員自身が対応している。 子育て支援課長 高齢者、障害者、妊婦、乳幼児等々へ定期配信をしている。 わくわくカレンダー発行の助成もしている。 健康課長 高齢者、乳幼児など家庭内の事が分からないので、訪問事業を重視するようにしている。

税務課長 当り前のことが当り前にできるという事を基本にしている。 牛房 厳しい大変だという話ばかりで、不安な思いを持っている方が多い。90億円の予算でどういう町をつくるのか、町民のくらしはどうなるか、明確なビジョンを示せ。 町長 行政と一体となって、活力のある町にして行く。そういうビジョンを示す事が必要。



▲庁舎1階ロビー

議会あれこれ

議長からのメッセージ



古庄議長

町長と議会は対等!

政策の決定権は議会 ゆえに責任は大

「議会改革」を公約し、議長就任してから二年、折り返しの先月三月議会のある日、町の某職員に「政策の最終決定権は誰」と問うたところ「町長」との回答に一喝。
予算を伴わない政策は無く、全て「議会」が最終決定」をするのです。



▲本会議のようす



日本一の花づくりの町に

堅坑槽などを活かして観光PRできるので、日本一の花のまちづくりコンクールに応募するか、町独自のコンクールの開催を。

[堤議員・平成19年6月・21年3月定例会での質問]



13のボランティア団体との会議の中で研究。もう少し時間を。



▲大的交差点周辺

老人医療費

国保保険証交付せよ

答弁…社会保障制度上無理

末藤省二 議員



末藤 75歳以上で保険料を払うことができず滞納した場合、保険証が取り上げられて資格証明書が発行される。病院では医療費を10割払わなければならない。

築いてこられた方々に病院にかかるなどは、これは人の道に反すると思うが、対策をどう考えているのか。
町長 社会保障制度の公平公正の観点からは、志免町だけでどうこうできる問題ではない。
末藤 保険証の取り上げは、住民の安全と福祉を壊し、健康を脅かすもので、国民の医療を受ける権利をも奪うものである。保険料を支払われない

人、これは特別な事情にあたるのではないのか。
住民課長 高齢者医療確保法には特別な事情があり、1号から5号まで機械的に資格証明書を発行するのではなく、短期証の発行を繰り返しながら滞納をなくすように、きめ細やかに対応していく。



▲資格証明書等

地方自治の運営は、首長と議会による二元代表制であり、議会は政策の決定と、監視・評価の機能を果たすという重要な機関で、その責任は大であり、その重責を議員個々がしっかりと認識し行動しなければなりません。
また、決定方法も、個である首長と違い、議会は多様な価値観を持った多数の議員による議論を経ての決定であり、その結論選択は、より住民の意に沿うものと言えます。
先の三月議会、その是非は別として、国による「定額給付金」支給に対する地域経済高揚支援策「プレミアム商品券」への増額補正を、議会として強く行政へ要請し、異例の議会中における補正予算計上を成し得ました。議会のあるべき姿です。

**志免西小学校
分離新設・増設等
調査特別委員会設置**

これからは住民の意識と価値観が益々多様化し

議会への評価と期待も厳しくなり、より以上に議論の過程を明らかにし、町の課題を住民の皆様と共有し、多様な意見を反映した政策提言や、監視機能を果たす議会へと改革して行かねばなりません。西小学校問題もしっかりと開示し議論いたします。

**「議会基本条例」制定で
議会・議員 そして
住民・行政も変わる**

二年間、議会のテレビ放映他、議会改革を推進して来ましたが、今年度は、住民の皆様への議会報告会の実施など、議会の役割、責務を明らかにする、議会の最高法規「議会基本条例」の制定に本格的に取り組めます。
最後に、これからも開かれた、町民の皆様信頼される議会の構築に全力で取り組みますので、ご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

(記・議長・古庄)

※議会・議員へのご意見をお待ちしております。

◆議長へのメール：simegityo@yahoo.co.jp